



第87号 2009年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な目次

ふるさと文学散歩 20 赤絵 瀑と萩	P4
ズームアップ「村木 一夫」(滋賀県)	P6
夢追人 岡田 泰(萩市)	P7
元気企業探訪 (株)村田蒲鉾店	P8

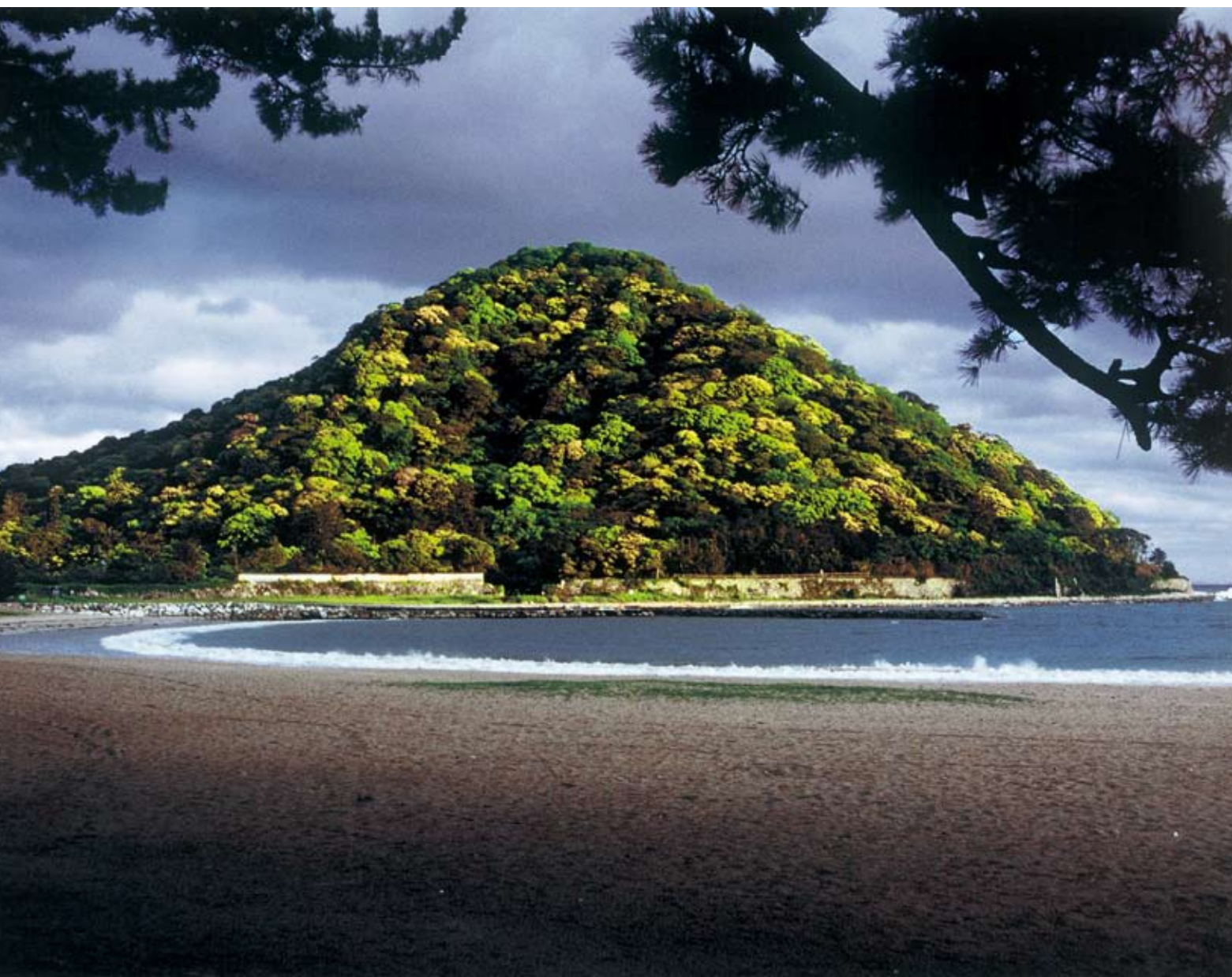
「翠したゝる指月山」と萩高校歌にも歌われているように、毎年初夏(GWの頃)には、タブノキやシノキの新緑がむくむくとわき出るように芽吹き、山全体が目眩しく感じられます。

指月山は、暖温帯の常緑広葉樹林としては日本でも稀に見る成熟した森林で、国の天然記念物に指定され、萩のシンボルとして市民・萩出身者に親しまれています。

みどり

翠したゝる指月山

新緑のタブヤシの巨木



野村興兒氏が再選

3月22日に任期満了に伴う萩市長選の投票が行われ、無所属現職の野村興兒氏（64歳）が前萩市議で無所属新人の諸岡昭二氏（62歳）を破り再選を果たしました。市長選は合併後初めて、旧萩市時代を含めると1997年以来12年ぶりの選挙戦となりました。当日有権者数は、4万7573人で投票率60・01%。得票数は、野村興兒氏1万7050票、諸岡昭二氏1万1223票でした。

野村興兒氏は、萩市椿東在住で、京都大学経済学部卒。大蔵省主税局、国税長官査察部長を経て、1993年、旧萩市長選で初当選。2005年の合併による市長選で無投票で当選し、新萩市の市長としては現在2期目になります。



「萩市長選挙ポスター」が12年ぶりに萩市街地に掲示されました

野村興兒市長

インタビュー



合併前は：

合併前の旧萩は水産、観光、窯業などが盛んな物流の拠点で、人口比で見ると全国的にも個人商店が多いとされる町でした。しかし、事業所・量販店など外部資本のものが多くなり、アツと言う間に個人商店が消え去り、市内でお金が還流しなくなっていました。萩から出て行くお金に対し、他の地域からのお金を引き入れること。そのためには観光に力を入れていかなければならないと考えるのは必然でした。

現在の課題は：

合併後萩市は、東京23区以上の広さとなりました。そんな広大な面積のほとんどが中山間地であり、農林業が中心の地

域。そして、膨大な国からの補助金で整備されたほ場があります。それは財産であり資源なので、それを次の世代へ継承することが必要です。

そのためには若い人の力が必要となるのですが、現状では若い人が萩に残らない。残らない理由として安定した収入がないことが一番の要因であり、となれば「安定した収入を確保できる仕組み」を考えることができれば問題は打開できるのです。

「地場の特性を活かした収益の出る第一次産業」を考えるべきで、その一つに新しい販路の開拓などがあげられます。市内に6つもある道の駅で観光客に直販する、市外・県外の方にネット通販などを活用することが必要です。

若い人がどうやって萩の地に一人でも多く残ってもらえるか、活躍してもらえるか、が最大の課題です。

今、求められること：

もちろん、若い人の力が必要

なのは農業だけでなく、その他の職業でも、若い人が萩に残らないことの影響は出ています。萩から出て行き、学びたい、働きたいといった思いはあっても、然ですが、高校卒業生の1割しか残らないということは大きな問題で、萩に残って安定した収入を得るためにはどうしたら良いのかといった職業に対する教育が希薄なのです。

医者・弁護士・不動産鑑定士など資格が必要な専門職が求められていますが、萩で働くために資格を取ろうとする萩の若い人は少ないわけです。それを打開するには、まずはふるさとを学ぶ。そして職業について学び、目指す職業のために必要なことを学ぼうとする環境を作らなくてはならないでしょう。

これからは、将来何になりたいかという議論を教師と、親御さんで行い、職業に対する意識を高めることが必要です。とはいえ、すべてを若い人に求めるのではなく、萩に残りたい、萩に帰りたいと思う若い人を迎え入れる体制作りも必要です。こんな社会情勢ですが決してあきらめることなく、長期的視点で計画を立て、「元氣を出して、乗り越えよう！」とチャレンジする勇気をもつリーダーでありたいと思っています。

松陰神社宝物殿の愛称が「至誠館」に決定

松陰神社の松下村塾そばに完成した宝物殿の愛称を全国募集したところ、寄せられた269点の中でもっとも多かった「至誠館」を、選考委員会も「松陰はまさに至誠の人であり、生き様をよく表している」として愛称に決定しました。

「至誠」は「極めて誠実なところ、まごころ、最高の誠意」という意

味です。

安政の大獄に連座して江戸送り

になる直前の1859年(安政6

年)5月に幕使に正義を説こうと

の決意で「至誠にして動かざるは、

古より未だ之れ有らず」(至誠は

人の心を動かす)という孟子の思

想を引用した書を残しています。

宝物殿(至誠館)の開館

10月27日開館式、10月28日一般

公開開始

松陰の著述や書簡類、遺墨など

を収蔵・展示します。

○門弟や家族にあてた手紙を展示

する「留魂の間」

○松下村塾で使った教科書などを

展示する「時代の書院」

○小窓から松下村塾を眺め説明が

聞ける「村塾の観席」

○デジタル展示コーナーなど



山口県文書館蔵

東京都 松陰神社蔵

◆萩博物館企画展「至誠の人・吉田松陰」

4月18日(土)~6月21日(日) 萩博物館

29年2か月という短い生涯を「至誠」で貫き通した人間松陰の魅力に迫ります。

企画担当者の道迫真吾研究員は、「内憂外患の危機に直面する幕末、松陰ははじめに国の将来を憂えた人は、ほかに例を見ません。失敗と挫折を繰り返しながらも、日本の変革に全身全霊をささげてこの世を去った「人間松陰」の生き様に、ぜひ触れたいと思います。」と企画展への思いを語っています。

今年は吉田松陰没後150年となることから、これを吉田松陰先生150年祭と称し、市内関係団体と連携して様々な事業が行われます。

◆松陰先生ゆかりの地・人のつどい

10月25日(日) 萩市民館

全国各地に旅した松陰先生。今なお、その足跡は各地に残り、それぞれの地で顕彰されています。青森から九州までの各地で顕彰活動をされている方々が萩で一堂に会し、その取り組みを発信します。

◆創作ミュージカル公演「SHOW IN~若き志士たち」

11月21日(土)、22日(日)萩市民館、12月23日(水・祝)山口市民館、来年2月には、東京公演の予定

アマチュア出演者を公募し、創作ミュージカルを制作、舞台発表します。

松陰の生涯と遺した現代に活かすべきメッセージをミュージカルとして観客に伝える、地域発信オリジナル維新劇

◆オリジナルフレーム切手の作成(今秋発売予定)

吉田松陰先生のオリジナルフレーム切手1,200円(80円×10枚を1,000枚予定)

◆映画「獄(ひとや)に咲く花」

近日キャスティング発表予定、7月からクランクイン(撮影開始)の予定、10月全国公開予定

野山獄で松陰と交流のあったヒサ子の悲しい性を描く物語、原作は古川薫「野山獄相聞抄~吉田松陰の恋」。

制作はグローバル・ピクチャーズ(映画「長州ファイブ」)、松竹京都撮影所、監督は石原興。

◆萩ものがたり記念出版「吉田松陰 人とことば」

著者は関厚夫(産経新聞社)、たった一人で長州藩、日本を変革する源となった言葉と生涯を追う。全体を四季にちなんで4章に分け、24のことばを説明します。

ブックレットシリーズの21冊目、定価500円

あかえ ばく 赤江 瀑と萩



山陰山陽小説集「飛花」
(95年、立風書房)
百幻船、鬼恋童など所収

赤江漢は、昭和8年(1933)

下関市に生まれた。日本大学演劇科を出てシナリオライターとして創作活動に入り、昭和45年「ニジンスキーの手」で小説現代新人賞を受賞し文壇に鮮烈デビューした。

その後も「オイディプスの刃」

で角川小説賞、「海峡」で泉鏡花賞を受賞するなどネオ耽美派を代表する中間小説作家として知られる。地域の風習や因習を巧みに活かした、空想性豊かな推理的作品が多い。

それでは萩を舞台にした作品をいくつか紹介してみよう。

「闇絵黒髪」

「闇絵黒髪」では、「桜の花が散りきって間もなくの時期だった。菊ヶ浜に突き出た。指月城址の海ぎわ寄りの松林の中

に、女は仰向けに腕を広げた恰好で倒れていた。

顔はまったく見えなかった。薄い月の光が射し込んでいて……女の顔だけが闇の中に消えていた。一瞬間と見えたのは、女の髪の毛であつた。」

この長い髪で絞殺された女を見た画家が、後日「青女」という絵を描き、画面端に現場で拾った鼈甲の赤い櫛を書き込んだ。この櫛にまつわる因縁から事件に巻き込まれていくのだが……。菊ヶ浜の松林、月夜の海と黒髪の女の死体、赤い櫛、これらの情景が視覚を刺激し読者を幻想的な情念の世界に誘う。

「百幻船」

「百幻船」は「江代の浦に船首を並べた三、四十隻の木造船は遠洋延縄の漁船群で、ほかに近海漁

の小型船や櫓漕ぎの伝馬船などが二十隻ばかり築港堤にかこわれた船溜りには舫つていた。」この江代の浦は萩市玉江浦漁港がモデルである。

江代の浦で女の溺死体を発見した逗留中の主人公が事件に介入しながらも、漁村の生活や風習にふれ、そこに生きる人達だけに通用する犯しがたい霊気を感じ取っていく。

老婆は「海で死んだ死人は、はあもう陸(おか)のもんじゃない。海の持ち物じゃつての。へじやから、それを引き揚げるとの、海は必ず代りをほしがるゆうての」

若い漁師は「土左衛門は家の内に入れんことになつとるんよ。水の災難を家の内まで持ち込まんちゆうマン担ぎじゃね。漁師はマンとかゲンとか担ぐけえ」

「船には船玉さんが住んどつてじゃからの」江代の「船玉さん」

は弟橘姫なのだという。

「船玉さんが走るんですい」「言葉じゃ言えん音ですい。風でもない。海の音でもない……」

鼓膜がリンリン震えるような……不思議な音ですいの」

このように萩地方の方言と漁師の風習がうまく表わされている。

玉江浦では大正4年に青年宿が設けられ、漁業を志す青年が共同生活しながら、漁業技術や漁具の修理法などを教わり、秩序と礼儀を身につける訓練の場としていた。現在も海への畏敬を表現する通過儀礼の名残として、和船競漕「おしくらごう」が行われている。6月のこの日は市民も参加して常盤橋から玉江橋間は大賑わいとなる。

「鬼恋童」

「鬼恋童」は「慶長の年、朝鮮よりの帰化人李敬、すなわち初代

坂高麗左右衛門によって、毛利藩ご用窯として開窯し、以来三百数十年、由緒ある伝統をつたえて現代に至る萩焼の長い歴史を点検するとき、そのどの一角、どの一ページの末端にも、「恋童」もしくは「鬼恋童」なる文字は、登場してこない。」と謎めいた書き出しで始まる。この作品は豪華な白釉に包み込まれた時代茶碗「白虎」の作者が若くして死んだのを、怨み茶碗に崇るといふ妖怪伝説をからめて展開する。

土もみ3年、ロクロ5年といった陶芸の修行、貫入という無数のひび目が茶器全体の色彩や光沢を微妙に変える「萩の七化け」という萩焼の特質、あるいは「カイラギ」というのは高麗茶碗の王といわれて、茶器の第一座を占める井戸茶碗独特の景色のことで、釉薬が微妙にちじれて固まりつき美しい粒状となつてあらわれる茶人の最

阿武町

町長に 中村秀明氏 無投票で再選



任期満了による阿武町長選挙

が4月7日に告示され、現町長の中村秀明氏（56歳）の他に立候補者がなく、無投票当選が決まりました。

再選された中村氏は2期目で、新たな任期は平成21年5月1日から平成25年4月30日までの4年間です。

二期目の課題は

これまで中長期的な視点で、ハード、ソフトの両面から推進してきましたが、町民が主役で、未来に広がる安心な町づくり、自立と協働の町づくりを目指します。

町の基幹産業になる農業や水産業などの一次産業の振興や学校施設の充実、道の駅の再整備に取り組みます。

▽防災行政無線のデジタル改修
▽奈古小学校舎と学校給食センターの改築
▽分譲宅地造成と公

営住宅建設など

また、事業を推進するにあたっては、健全な財政運営なくしてはできないので、引き続き行財政改革を推進し、効率的な事業展開を心がけます。

萩市との合併については

救急・消防やごみ処理、畜場など萩市に委託しており、これからも萩市との連携を深めていくことが重要ですが、今は考えてないし、住民や議会からも合併の話は出ていません。

小さい町の方が住民と一緒の町づくりに適しており、「ナンバーワンよりオンリーワン」「小さくても個性がキラリと光る自立したまちづくり」を目指します。

◆プロフィール

1971年に阿武町職員となり、企画課長や総務課長などを務め、05年に退職、同年の町長選で初当選。阿武町奈古出身、萩高卒。

も珍重する窯変美である、」など萩焼の知識を織り交ぜ、作中の主に「焼き物には腕や技術じゃ追いつかん謎の世界がある。窯出しして見んことになや私にも……見当はつかん。」と言わせているように、萩焼の奥深い特性が一層作品を引き立てている。

「鬼恋童」はフィクションではあるが、モデルは誰なのか。どこかの窯が舞台なのか、と興味が膨らみ引き込まれてゆく。

「文久三年五月の手紙」

「文久三年五月の手紙」は「防長二州の首府、三十六万石、毛利氏の城下町として開けた萩の町は、維新発祥の地とよばれるにふさわしい史蹟遺構も数多く残している。」という書き出しで始まる。維新ブームで賑わった昭和50年代の萩を舞台に、福岡の女子高校の放送クラブの生徒たちが、萩市内を散策中あり得ない不思議な出来事に巻き込まれるという設定だ。

彼女たちは、若さにまかせてあちこち町じゅうをめぐり歩いた。「行こう、行こう。今日は、そこからはじめよう」彼女たちは大照院を歩く。

「深い樹林にかこまれた独特の石組み参道のある歴代藩主の居並んで眠りにについている墓所は、ひとの背丈を越す数百基にもおよぶ大

石灯籠の群列で埋め尽くされている」

次いで、古い武家屋敷跡の家並みや、物さびた古塀の小路を徘徊したのだが、壊される旧家の土蔵のあたりで一人の少女がいなくな

る。仲間たちが旅館で泣き明かした次の朝、少女はひよっこり帰ってきた。

「何も覚えていないんです」気がついたら「大照院の森にいた」という。

そしてバックのポケットから折り畳んだ黄はんだ和紙がでてきた。「篠殿え一筆申入れ候。此度いよいよ吾長州藩挙げて、幕府御取極めの対異国通商条約破棄の挙と相成、拙者、只今より馬関え向け出陣致候。そこものご厚情心肝に徹し忝く、死して後も必ず相忘れまじく候。兼ねてより……ここに決別の一状認置申候。」

少女はこの瞬間を境にほとんど口をきかなくなった。そして、その年の夏、高校放送劇コンクールの校内選考会に少女の作品があった。

作中では、馬関戦争に奇兵隊員として出兵する足軽の青年と身分の違う恋人との悲恋が展開されていた。『神隠し』にあった少女の空白の一夜の夢物語なのか、それともタイムスリップして本当に文久三年の悲恋の現場にまぎれこん

だものなのか。

萩という重い歴史の地とキャピキャピの少女たちの歓声の明るさが対照的で、逆に読者を物語の深みに誘う。

「原生花の森の司」

このほか、笠山の椿群生林を素材にした「原生花の森の司」という作品もある。

赤江作品の面白さは、舞台回しの卓越した技法にあるように感じるが、虚構の世界だと思いつつもグイグイと引き込まれてゆき、結果、納得させられている。

文芸評論家の中川成美は「日本の伝統芸術に材を採った作品が多く、背徳的な色彩をたたえながら展開するストーリーの面白さには定評がある。それは赤江の伝統美の世界への該博な知識に支えられている。」と評す。

地域に腰を据えて創作する赤江作品は、地域の伝統や因習それに伴う生活の実相をくつきり浮かび上がらせ考えさせられる。

作品を読んでその舞台を歩いてみると、また別の景色が見えてくるように思う。

高井 誠（エッセイスト 日本ペンクラブ会員）



大阪指月会(4月19日、大阪弥生会館、55人)
今年が64回目となる伝統ある同窓会。前会長の中山光夫さんは、30歳の時初めて出席以来、45年間皆勤賞とのこと。乾杯の音頭は80歳の弘中實浄さん。萩高は来年創立140周年になります。

●プロフィール

昭和10年 10月生まれ 満州国撫順市
昭和30年 萩高等学校卒業
昭和35年 山口大学工学部工業化学科卒業
昭和35年 鐘淵化学工業株式会社入社
平成7年 同社定年退職



村木 一夫 さん

(滋賀県大津市在住 73歳)

大阪指月会会長

萩高等学校 昭和30年卒 (萩市椿東出身)

私の近況

私が大阪指月会に初めて出席したのは、昭和50年頃でした。父が当時の会長杉丙三さんと同期、志賀義雄さんが2年先輩(兄栄熊が同期)で、ぜひお会いしたいというので付き添いで、高石市の羽衣荘まで行きました。

その後、時々時間が取れるときは顔を出すことにしていましたが、萩高が高校駅伝に出場するようになってからはそのたび、西京極陸上競技場まで行き、車で先回りしながら応援しました。

大阪指月会は戦後杉道助さんの発案で始められ、その後、毎年開かれていきます。

前々会長の伊藤豊章さんが突然他界され、会長が空席になったとき、その前の会長市川進さんと相談して長年同窓会を支えてこられた、中山光夫さんを会長に推薦しました。そのとき、それではお前は副会長になれと言われて今日にいたつております。

この度、中山会長が後期高齢者になるので会長を後進に譲りたいと言われ、今度は君が引き受けるということ、次の会長を引き受けることにしました。

私も2年後には、後期高齢者になるのでショートトリップとして全力を投じたいと思っています。私は定年後、自治会長、老人会会長、大津市生涯学習センター

施設ボランティアの会長など引き受け多忙な毎日を送っています。両親、姉、弟の墓は現住居の近くの比叡山霊園に移したので、萩に帰るのは毎年富田旅館で行っている萩一中のクラス会のとときと、親戚の冠婚葬祭ぐらいになりました。

萩の思い出

小学校のときは、父の故郷鶴江から椿東小学校へ歩いて通っていました。

学校から帰ったら家の前の松本川へ飛び込み、一日中泳いで遊んでいました。

鶴江の裏の断崖をわらじを履いて降りてゆき、あわびや、さざえを獲り、魚を針で刺したりして遊びました。

子供たちが小さいとき、その現場へ連れて行ってみましたが、足が震えて、よくこんな所へ父は連れてきたものだと思心するしだいでした。

中学校では、野球少年、毎日、日が暮れるまで球拾い、一年先輩は県大会で優勝に出る名門でしたが、大井中の吉村弥太郎、明経中の万屋拓、指月中の丹野研一などがいて苦戦続きでした。

萩高では、柔道を始め、白井寛一郎さん、藤田徹さん、山本展太郎さんに受身から指導していただきました。3年生の時は、一年先輩に河野三兄弟のち末弟、長嶺宗

順(河野)君がいて、萩、長門の大会では勝ち続けました。大学でも毎日柔道の生活で、中国、四国、北九州の遠征の日々を過ごしました。

子供が小学校に通い始めたころ、少年柔道の指導をしました。先日次男の子供が、吹田市の市長杯に出場したので応援に行つたところ団体で2位となりました。

萩への一言

萩といえば、松下村塾、吉田松陰。このあいだ「萩へ行ってきたよ」というので「どこへ行ったか」を聞けば「松下村塾とか：」程度で明治維新に関心があるのは確か、しかし、海や魚についての感動が少ない。最近、温泉も出るとか、資源はそろっている。町おこしの手段だけだと思う。

このエネルギーは行政の指導力とボランティアの活用であると思う。滋賀県でも、ボランティア活動の活性化は目を見張るものがある。萩の町といえば、東田町商店街。シャッター通りはどこでもあるが旅行に行つて商店街はひとつの見所です。萩に行つたら明治維新の歴史を感じ、おいしい魚を食べ(関西人がおいしいと思う味の研究も必要かな?)、海の活用(しかしきれいな海は汚さないようにしてほしい)楽しく海で遊べる、そして、人の優しさを感じさせる町にして欲しい。

夢 追人

萩焼新進作家 ①

岡田窯

岡田 泰さん

やすし

05年萩にUターン

(萩市椿東在住 32歳)



白釉窯変壺

かった高校生の時だと言います。

造形美を求めて

有田・伊万里などは、成形と絵付けを分担し、どちらかというと絵付けに芸術性を求められますが、萩焼は造形と釉薬をかける作業とを一人で行い、どちらかというと造形センスが評価されるもの。そう考えると、萩焼作家になるにあたって必要とされるのは造形センスであり、造形について学ばなくてはならないと、東京造形大学美術学部彫刻科へと進学を決めました。もちろん、そう考えるようになったのは、育った環境からであり、父との会話、近所の陶芸家の先生との会話、お弟子さんとの会話から多くを学ばせてもらったからだと言えるでしょう。

オリジナルフォルム

大学で彫刻を通じて造形を学び、卒業後は京都の陶磁器の訓練校、

試験場で3年間陶工を学び、いよいよ実家に戻り、萩焼作家として仕事を始めます。

目指すところは、作品を見てくれた人が「あー萩焼ね」ではなく「萩焼はこんな美しいものなのか!」という驚きや感動を与えるものを制作すること。とはいえ、陶芸家としてまだまだ駆け出しなので、今現在自分はコレだ、という固定観念を持ちたくないという気持ちもあります。

そのため、現在行っている陶芸活動は、「自由な感覚の使える器」「お茶の器」「創作中心の花器や大物」の3本立てで、将来の《岡田泰の世界》を暗中模索しているところ。言い換えるなら、色々な事に取り組み、可能性を広げ、伝統を重んじながらも新しさを求め、その上で、より洗練された岡田泰オリジナルの造形的なフォルムを作り出したいのです。

萩からの恩恵に感謝

萩焼作家になり、改めて感じることの1つに、「萩があつてこそ」というものがあります。陶芸は土や火など自然物と手を取り合つて仲良く共存していかなければならないもの。そうであるからこそ、海や山など、たくさんさんの自然に囲まれたこの町の恵まれた環境は、萩焼作家にとつてとても有難く、感謝しなければならぬことだと感じます。

また、萩焼というブランドが確立されているお陰で、陶芸家という職業が認知されている町でもあり、私のような若手でも陶芸活動に専念できるわけで、そのような意味でも萩という町に感謝しなければなりません。

萩焼は萩の代表的な特産品のひとつ。萩がこれからも自然に恵まれ、地元の方や訪れてくれるたくさんさんの観光客の方々に愛されるよう、感謝の気持ちを持ち、自分の仕事を通じて、より魅力的な町づくりに少しでも貢献していきたいですね。



1976年生まれ。95年萩高等学校卒業後、東京造形大学美術学部彫刻科へ進学、02年同卒業後、03年に京都府立陶工高等技術専門校成形科修了、05年に京都市立工業試験場陶磁器専修科修了し、同年萩に戻り、父、岡田裕(山口県指定無形文化財萩焼保持者)に師事する。

07年/おおたき北海道陶芸展・読売新聞支社賞受賞、現在形の陶芸・萩大賞展入選

08年/茶の湯の造形展入選、西日本陶芸美術展・山口県知事賞受賞、おおたき北海道陶芸展・伊達商工会議所会頭賞受賞

■岡田窯:萩市椿東前小畑1区

TEL 0838・25・3737 FAX 0838・25・6655



(株) 村田蒲鉾店

2月萩市椿東玉太郎に村田蒲鉾・椿東店がオープンし、練り製品という日配品ながら市場を関東、関西に広げ、今や萩を代表する蒲鉾店となった(株)村田蒲鉾店に訪問し、村田泰一代表取締役社長にお話を聞きました。

家内操業

昭和36年に先代・村田四郎が村田四郎商店として浜崎新町に開業したときは、従業員7人の小さな蒲鉾屋でした。先代の長男として生まれ、男兄弟もおらず、跡継ぎとなるのは自然な成り行きでした。萩商業高校を卒業した後は、大阪の中央市場に就職し、3年ほど修行した後、萩に戻ってきます。

その時には、村田四郎商店は有限会社・村田蒲鉾店へと組織変更されており、その2年後の昭和47年、23歳の時に代表取締役社長に就任します。ただ、村田家では役職というものにあまり意味はなく、若くして社長になったからといって、あくまで家内操業。日々、お客様に喜んでもらうことの為に、良い蒲鉾を作ることに従事してい

ました。お客様のニーズに応えるより良い蒲鉾作りを家族揃って必死に頑張る。それは先代の教えであり、やっていかなければならぬことは先代から受け継いできたことです。

唯ひたすら

社長就任年に、現所在地である椿沖田に社屋を構え、平成14年に下関営業所を開設、同年道の駅・萩しーまーとに店舗開設と、徐々に規模が広がってきましたが、振り返り考えてみると、会社を大きくしたいという願望があったわけでもなく、前述のとおり、唯ひたすら先代の教えに従い、蒲鉾作りのことだけを考え、何十年と続く商いをやっていかなければならぬという責任感の中で、日々の仕事に努めていました。なので、こ

の時期が辛かったとも、これが村田蒲鉾店のターニングポイントだったとも、そんなことさえも考える余裕すらありませんでした。それは、現在でも同じで、年商がどれほどになろうとも、従業員が何人となろうとも、基本的には家内操業と同じ考え。背伸びをせず、自分にできること、自分達にできることを、このご時世にあった姿で頑張っているだけです。

後継

この度の椿東店オープンにしても、規模を拡大したいという思いからではなく自然の成り行きに近く、強いて言えば、後継者となる二人の息子達が、自分達の仕事を形にただだけと言えます。それは、村田蒲鉾店が関東や関西へ販路を広げていることも同じで、息

先代への感謝の気持ち

その全てが「美味しい蒲鉾作り」であり、「作るからには萩で一番のものを！」という先代からの教えが、今でも村田蒲鉾店を支える大きな意志となっています。それ



農林水産大臣賞受賞「村四郎」
新鮮なエソのみを使用、歯ごたえと
風味の良い焼き抜き蒲鉾
★2本セットを20名様にプレゼント！

(株) 村田蒲鉾店



椿東店 (松陰神社から車で3分)



本社: 萩市大字椿字沖田2108番地

TEL: 0838・22・0877

椿東店: 萩市椿東 1046-1

営業時間: 8:00 ~ 17:00

TEL: 0838・22・1567

資本金: 1,000 万円

年商: 15 億円

従業員数: 89 人 (常用パート含む)

事業内容: 練り製品製造販売

取扱品目: 蒲鉾、竹輪、てんぷら

【村田蒲鉾店の製品が買える所】

■県内 村田蒲鉾店本社、萩・椿東店、萩しーまーと店、下関営業所、各地スーパー等

■関東 丸井食遊館、シェルガーデン、エスパ

■関西 イトーヨーカドー、コーヨー、大丸ピーコック

※その他全国各地の百貨店で行われるイベントでも購入できます。

は息子達にも引き継がれ、息子達は、現在主流の冷凍スリ身を使つた蒲鉾作りではなく、新鮮なエソのみを使用した昔ながらの美味しいうちの蒲鉾を研究し復刻させました。それが、農林水産大臣賞を受賞した「村四郎」です。「村四郎」とはエソの目利きとして知られていた先代の愛称で、彼らが幼少のころ忙しい私たち夫婦に代わって育

てくれた祖父への感謝の気持ちと、村田蒲鉾店創始者である先代への敬意から生まれたものです。「美味しい蒲鉾作り」それ以上でもそれ以下でもなく、(株)村田蒲鉾店というファミリーでの家内操業。村四郎の教えと共に代々あり続ける村田蒲鉾店。それを後世に引き継いでいってもらいたいです。

萩商工会議所では、全国区で戦える有力な産品を目指し、2007年は「萩の真ふぐ」、08年は「萩のあまだい」のブランド

「金太郎」を全国区に

萩市では、市内の特産品振興のため、商工課内に「萩ブランド流通開発室」を新たに設けました。首都圏への販路拡大を目指し、民間事業者をサポートするもので、道の駅・萩しーまーとを運営する「ふるさと萩食品協同組合」に、萩市の若手職員、梶本学くん(32歳)を派遣。組合が推進している農商工等連携事業や萩の魚ブランド化事業などを支援します。

萩には、全国的に有名な萩焼や、夏みかんの加工品をはじめ、北浦の海の豊かな恵みを受けた魚介類やかまぼこ、桃・梨・葡萄などの農産物、地酒など、全国に誇る逸品がたくさんあります。萩市では、市内の特産品振興のため、商工課内に「萩ブランド流通開発室」を新たに設けました。首都圏への販路拡大を目指し、民間事業者をサポートするもので、道の駅・萩しーまーとを運営する「ふるさと萩食品協同組合」に、萩市の若手職員、梶本学くん(32歳)を派遣。組合が推進している農商工等連携事業や萩の魚ブランド化事業などを支援します。

「地場企業の収益を増やすためには、消費市場の拡大が必要」と、萩の魚や農産物、萩焼などの特産品を全国に売り込むため、萩市では「萩ブランド流通開発室」を設け、新たな取り組みを始めます。

新たな取り組み

- ◆首都圏業務用需要の開拓
日本料理・フレンチ・イタリアン、シティホテル料飲部門
- ◆百貨店・食器専門店への販路開拓
シェルガーデン(西武系)、明治屋、紀伊国屋、プレッセレミアム(東急系)など
- ◆都市圏市場への積極出荷
東京築地市場・京都中央市場水産部など
- ◆インターネットの産直サイトの検証

萩産品のブランド・販売をめざして!!



萩の豊かな産品を売り込む

化に取り組み、首都圏や関西などに流通、高い評価を受けています。今年「金太郎」を売り出そうと計画。萩では居酒屋の定番メニューですが、魚屋さんやスーパーに並んでいるのは萩や下関だけ。全国では一般的ではありません。ほぼ通年獲れるので販売もしやすく、焼き物・天ぷらと家庭での調理も簡単。まずは首都圏での認知度を高め、萩のブランド魚として全国へ発信を目指します。

梶本くんは、観光課に9年間在籍。また、3年間、東京にある山口県のアナテナショップ「おいでませ山口館」(中央区日本橋)に出向し、市内外から萩のPRに携わっていました。「今は魚市場や青果市場を勉強中。都会のホテルや居酒屋で萩の酒と肴を味わい、また家庭ではイ

問い合わせ 萩ブランド流通開発室 (0838・253811)

「これから、萩の特産品を売り込みに都市部への訪問を始めます。注文、食べられるようになる嬉しそうですね」



「萩の特産品を全国に広めていきます」
梶本くん

●経済産業省・アンテナショップ「Rin」で
萩ガラス製品が販売

「職人の技」と「優れたデザイン」を兼ね備えたものだけを時代を問わず全国の地域からセレクト。

東京都港区北青山3-6-26

(03・6418・7020)

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B2出口またはB4出口から徒歩2分

●東京都内の販売店

●ミッドタウン3F ワイズ・ワイズ・ツールズ
TEL 03・5647・8355

●表参道ヒルズ3F はせがわ酒店
TEL 03・5785・0833

●テレビでも紹介

NHK国際衛星放送「Begin Japanology」(4月23日)、NHK総合「ビギン・ジャパノロジー〜日本文化の紹介」(4月24日)で、萩ガラス工房が紹介されました。

萩ガラス

続々と
PR!

■問い合わせ 萩ガラス工房 (0838・26・2555)



伝統の会津漆と萩ガラスが融合した「銀箔入り会津塗酒器」(各7,825円)

●昨年10月に座談会が開催

東京都世田谷区のカフェ・マメヒコ三軒茶屋店で「復刻・萩ガラス 長州幕末座談会」が開催され、参加者は、高杉晋作や周布政之助らが愛用した酒盃、ワイングラス(萩ガラスの復刻品)を片手に、幕末の萩の歴史と科学の話に耳を傾けました。



△座談会の小冊子も発行!

会員からのお便り
めーるばっくす

○近藤安弘(東京都練馬区)

萩ネットワーク楽しく読んでいます。第86号15ページ「萩の方言」の「じんごがない」の「じんご」は「尽期」と書きます。広辞苑には、物事の尽きる時、最期、はて、とあります。

古文書の勉強をしている私どもとしては「京との交流が多かった長州藩士たちが、持ち帰ったものではなからうか」と考えます。今どきは使うことはほとんどありませんし、萩高に通った3年間に、一度も聞いたことはなかったと思います。

「尽期がない」萩の歴史を物語る一言かもしれません。

○松浦信雄(萩市)

「萩ネットワーク」、大切な情報満載でいつも楽しく拝読しています。プレゼントの「土原歴史散策」。私自身も土原に住んでいましたし、父母、祖父母も土原に住んでいましたので、特に懐かしい土地です。

○林賢治(埼玉県川越市)

数年前まで本籍が土原でした。土原は、前原一誠旧宅や入江九一・野村靖旧宅跡ぐらいいしか知らず、興味がありません。



△横綱の土俵入りが行われた「三段土俵跡」(大井・阿武の松原)



稲妻、阿武松(歌川国貞)(県立萩美術館・浦上記念館 所蔵)

先日、幼なじみと寄席へ行ったところ、テレビでおなじみの三遊亭好楽が長州藩お抱え力士の阿武松緑之助の嘶をしていました。確か藍田川を太鼓湾へ上がった土手に大きな石碑が立っていたし、大井の海沿いの松原の中にも碑を見た記憶があるという話を幼なじみにしたら、知らなかった、今度帰ったらぜひ見たいとのこと。奇遇だなと話ながら、懐かしく楽しい時間を過ごしました。

▽事務局から：文政11年(1828)3月第6代横綱になった阿武松緑之助は、萩藩御抱力士でした。

○尾方隆司(中国湖南省長沙市、昭和38年萩高卒、三見明石出身)
中国に在住する尾方です。私は昨年まで、日本で総合重機メーカーに勤めていましたが「今まで培ってきたものを広めたい」と、一念発起して中国に渡りました。今は大型クレーンなど大型重機を製造する従業員2万人超の会社で、製造技術・品質管理の指導をしています。中国では、建設機械の人材、技術的な経験が少なく、まだまだ、日本人がお手伝いできることがたくさんあります。

2月、宮本中国駐在大使が訪れられ、懇談会がありました。また日本の大手商社の中国総代表が私どもの会社を見学されました。海外で働くことに喜びを感じ、元気が湧く日々を送っています。

中国の方は、日本以上に花火好きです。また、バスに乗ると若者が必ずといっていいほど席をゆずってくれますが、反面、道端にごみを平気で捨てる姿をよく見かけます。萩はきれいなまちです。これからも美しくあつてほしいと願っています。

誰でも海外で生活していると日本との繋がりが欲しくなるのですね。



■萩市・阿武町内高校卒業者の進路状況

卒業生 535 人のうち、
市内に残ったのは 50 人

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	内萩市	全体	内萩市	全体	内萩市
萩高校	195人	153人	2人	3人	2人	39人	6人
萩商工高校	207人	36人	1人	113人	10人	58人	1人
萩光塩学院高校	56人	28人	0人	16人	6人	12人	1人
奈古高校 ・徳佐高校高俣分校	77人	5人	2人	47人	10人	25人	9人
合 計	535人	222人	5人	179人	28人	134人	17人

高校卒業生
萩に残るのは約1割

9割以上が市外・県外へ

今年3月に、萩市と阿武町の高
校の卒業生は535人でした。う
ち市内へ残ったのは、大学5人
就職28人、専修学校など17人の合
計50人で、卒業生の9.3%。9割以
上の若者が、市外・県外へ、進学・
就職しています。

萩高生の進路先

地元に近い中国地方が大半

今年3月に卒業した萩高校3年
生の進路先は、地元に近い中国
地方が全体の約半数の98人でした。
続いて、九州・沖縄の36人、近畿
の33人、関東の24人。
根強い地元志向と、昨今の経済
事情が少なからず進路先に影響し
ているのかもしれない。

■地方別の進路先

地方	人数
北海道・東北	0人
北陸	0人
関東	24人
東海	0人
近畿	33人
中国	98人
(山口県内)	54人
四国	4人
九州・沖縄	36人
合 計	195人

高校日本代表
イングランド遠征

萩商工ラグビーの藤澤くん！



萩商工ラグビー部の藤澤
典典くんが、3月、高校日本代
表のメンバー(26人)に選ばれ、
ラグビー発祥の地、イングラン
ドに遠征しました。

藤澤くん(身長178cm)は、
高校からラグビーを始め、ポジ
ションはセンターバック。昨年
は、萩商工キャプテンとして花
園に出場。その活躍が認められ
日本代表メンバーへ。

強豪イングランド代表とのテ
ストマッチ(国代表試合)は、3
戦全敗と力及びませんでした。が、
出場した藤澤くんにとっては貴
重な体験。

藤澤くんは、4月から、関東
大学ラグビーリーグ戦の雄、流
通経済大学(茨城県)に進学し、
さらなる飛躍を目指しています。

県内高校生文化の祭典
6月、萩市民館で開催

6月18〜20日、萩市民館で、第
31回山口県高等学校総合文化祭が
開催され、吹奏楽や合唱、美術・
工芸、書道、文芸など13部門で日
頃の活動の成果を発表します。
地元の萩高生も吹奏楽、合唱、
美術・工芸、演劇に出演します。

山口県高等学校総合文化祭

▽6月18日(木)〜20日(土)
午前9時30分〜
(18日は午後1時〜)
▽萩市民館
▽入場無料

旧萩商業高校の跡地利用を検討

萩商工高校では、2007年
度の新校舎完成に続き、08年度
旧萩工業校舎の解体、体育館の
耐震補強やテニスコート場の整
備など一連の工事が完了し、3
月18日竣工式が行われました。

また、現在使われていない旧
萩商業高校跡地(江向)の利活用
を検討する委員会が、開催され
ています。

1917年(大正8年)、萩町
立萩商業として、現在の場所に
校舎が建設されました。昨年の

萩商業閉校後も、校舎や体育館
グラウンドはそのまま残ってい
ます。

萩商跡地は、現在も山口県の
所有地ですが、中心市街地に位
置するため、市では、萩市にとつ
て有効な活用が図られるよう、
学校関係者や文化財、商工・観
光団体などの意見を聞きながら、
今後県と調整を行っていきます。
「隣接する明倫小学校の敷地
と一体的な活用をしては」など
の意見が多く出されています。

◆萩商業の歴史・伝統を受け継ぐ石碑

閉校となった萩商業正門入り
口に、商業の歴史・伝統を受け
継ぐ2つの石碑があります。

■杉道助氏

校訓「質実剛健」「知行合一」
を記した石碑で、吉田松陰の長
兄・梅太郎(杉民治)の孫で、
大阪商工会議所会頭を務めた杉
道助氏の揮毫。

■久原房之助氏

久原房之助氏の功績碑。日立
製作所創立の基盤となった久原
鋳業所や久原財閥の総帥として
「鉦山王」の異名をとった久原
氏は、学校や宿泊舎建設として
3万9000円(現在の貨幣価
値では10数億円)を寄付。



左)久原房之助氏を称え、右)杉道助氏揮毫の校訓碑

創作人形作家

高橋 まゆみさん

(長野県在住)



高橋さん(右)と陽さん

4月7日から26日まで、萩市民館で「高橋まゆみ 創作人形展 故郷からのおくりもの」が開催され、作者の高橋まゆみさんが来萩されました。展示にはのべ1万1800人が入場。

懐

かしい農村の暮らしを人形で表現した「高橋まゆみ創作人形展 故郷からのおくりもの」は、2003年から行われており、萩での開催は全国で77か所目。元萩市教育長で金谷大満宮司の陽信孝さん(70歳)との交流がきっかけとなりました。高橋さんの作品の中には、陽さんと妻八重子さん(故人)をモチーフにしたものもあります。

陽さんは、30年以上教職に携わり小・中学校校長、教育長などを歴任しましたが、約18年前にガンを発症。タイミンを同じくして八重子さんがアルツハイマー病を発症したため、陽さんは教育長の職を辞し、八重子さんが亡くなるまで約4000日にわたって介護を続けました。

その後、2005年に、介護をする中で八重子さんへの愛情を短歌で綴った著書「八重子のハミング」を出版。この本を、本屋で偶然手に取った高橋さんは、心を打たれ、陽さん夫妻の人形を作り始めたそうです。

陽さんがハーモニカを吹く横で八重子さんが楽しそうに踊る姿や、雪の中、陽さんの帰りを待ち続けた八重子さんを、陽さんが背後から抱きしめる姿などが人形で表現されています。

高橋さんは、長野市生まれ。結婚後に、独学で本格的に人形づくりを始めました。針金、粘土、布などを素材に、顔の表情や体の曲線がリアルな人形を作り上げていきます。しわくちやの笑顔で孫とおにぎりをほお張るおじいちゃんやおばあちゃん、じゃがいもなどの収穫をするおじいちゃんなど、見るとどこか懐かしく、温かい気持ちになれる人形ばかりです。

オーブンシングセレモニーで、野村興児萩市長は、「どこか忘れていたような、心に残っているような心象風景を見て、感動を覚えまして」と話しました。

高橋さんは、人形作りについて「見る人に、大切なものを忘れないでほしい、と思いながら作っています。人の心にどれほど温かいものを残せたか楽しみにしています」。陽さんとの出会いについては、「ここにこしたかわいらしい人形を作り続けてきたのですが、陽さんの本と出会ってから精神的に深い人形を作ることができるようになりました」と話してくれました。

◎鑑賞者の感想ノートから・・・
「感動して涙ができました。亡くなった母を思い出しました」、「自然と涙がでるのは、何でしょう。感動をありがとうございました」。

来年4月、奥信濃と呼ばれる長野県飯山市に高橋まゆみ創作人形館がオープンする予定です。



【雪中】
待ち続け 待ち続けてた 妻を抱く
あやまる言葉も みつからなくて



【まなづ】
なんてんの 雪に映える 庭に立つ
妻の笑顔の 静かに明かる



【いつくさ】
愛おしく 痛く悲しき 日々なれど
笑顔の妻に こころなごめり

5月12日(火)まで 栃木県 宇都宮東武百貨店	11月7日(土)～12月6日(日) 岡山県 新見美術館・ 日南町美術館
5月21日(木)～6月2日(火) 大分県 トキハ百貨店	12月10日(木)～25日(金) 広島県 天満屋八丁堀店
6月14日(日)～7月26日(日) 山形県 酒田市美術館	【平成22年】
8月11日(火)～23日(日) 新潟県 新潟三越百貨店	1月2日(土)～9日(土) 東京都 江戸東京博物館
8月25日(火)～9月23日(水・祝) 群馬県 富岡市立美術館	2月1日(月)～16日(火) 埼玉県 秩父八尾百貨店
10月2日(金)～18日(日) 埼玉県 川口リリア	2月20日(土)～3月7日(日) 香川県 香川県立ミュージアム
10月21日(水)～11月3日(火・祝) 山口県 山口井筒屋	3月9日(火)～23日(火) 岡山県 天満屋岡山店

パリで 十二代三輪休雪展

「陶 愛と死の融合」 盛況！

3月10日から、フランスパリの三越エトワールで「十二代三輪休雪展 陶 愛と死の融合」が開催されています。5月9日まで。
山口県立萩美術館・浦上記念館の石崎泰之さん(芸芸課長)の話。
「今回の展示には『陶 愛と死の融合』というサブタイトルが



つけられている。十二代休雪のオブジェはそのエロチックな表現の直接的なところが扇情的だとして一定の距離を置いて眺めようとする傾向がわが国ではまま看られるが、フランスの人たちにはエロスを生々にかかわる根源的な存在という認識が浸透しているようで人間の純粋な感覚の発露として親しみをもって鑑賞していたのが印象的だった。」

【帰国展】

□8月25日(火)～9月6日(日)
東京都中央区 日本橋三越
(03・3241・3311)
□9月11日(金)～16日(水)
福岡市中央区天神 福岡三越
(092・724・3111)

萩博物館だより

(0838・25・6447)

吉田松陰没後150年 記念企画展

至誠の人 吉田松陰

6月21日(日)まで

29年2か月という短い生涯を、「至誠」で貫き通した「人間松陰」

の魅力に迫ります。
吉田松陰の肖像画や書簡など65点を展示します。
展示構成は、今に伝えられる松陰の姿かたち、資料でたどる松陰の生涯、語りつがれる「松陰先生」の教えで、江戸遊字中の22歳ころ練習したオランダ文字、30歳の処刑直前に書いた絶筆などを展示。



★「吉田松陰自賛肖像」から製作した絵ハガキ(10cm×20cm)を5名様にプレゼント！

マンタの海流大冒険〜まぼろしの海神王国をめざして〜

7月4日(土)～8月31日(月)

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
年中無休
観覧料 大人500円、高・大学生300円、小・中学生100円
駐車場 普通車66台、バス8台
※4月1日から有料(市民は無料)
普通車1回300円、大型車1回1000円

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(0838・24・2400)

受贈記念特別展

染野夫妻陶芸

コレクション

リーチ・濱田・豊藏・壽雪

5月2日(土)～6月21日(日)

染野義信・啓子夫妻が生前収集された陶芸作品を主とする241件の美術品が、平成19年度に遺族から山口県に寄贈されました。

バーナード・リーチ、濱田庄

司、荒川豊藏、三輪壽雪といった人間国宝クラスの陶芸家たちの作品、約260件を展示してその遺徳を紹介いたします。

12代 三輪休雪

「卵」



三輪和彦「白い夢」

創立250周年記念 ウェッジウッド〜ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史〜

7月4日(土)～8月23日(日)

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
休館日 月曜日
※5月4日(月・休)は開館
観覧料 一般800円、学生600円

●浮世絵展示

「源平の武者絵」

5月2日(土)～31日(日)

「豊原国周の役者絵」

6月2日(火)～21日(日)

●東洋陶磁展示

「色鮮やかなやきもの」

5月2日(土)～6月21日(日)

情報アラカルト

北陸地区

■岡田裕作陶展

7月9日(木)～14日(火)
新潟県新潟市中央区西堀7番町
1574 ホテルイタリア軒
(025・224・5111)

関東地区

■ふるさと萩・小川会

旧田万川町小川出身で、関東在住者の同郷会。
6月7日(日)午前11時30分～
東京都台東区上野 吉池本館7階
和室(JR御徒町駅前)
(03・3836・0446)

■萩光塩学院関東支部「光友会」同窓会

萩光塩学院関東地区の同窓会。
光塩ファミリーの絆を大切に。
6月14日(日) 正午～午後2時
東京都中野区中野4・1・1 中野サンプラザ・エトワールルーム
(JR中野駅北口正面)
(03・3388・1151)

■「おいでませ山口館」リニューアルオープン

情報ターミナルとして、最新の山口県情報を発信する「おいでませ山口館」が4月6日、リニューアルオープンしました。

下関のふくをはじめ、かまぼこやお茶等、山口県の名産品などを展示・販売するスペースを拡張、お得なポイントカードを創設し、日曜日、祝日も開館しています。

また、観光案内やUターン相談等、山口県に関するさまざまな情報の提供なども行っていますので、ぜひお立ち寄りください。

●夏みかんミニフェア

～萩市からの贈り物～

萩市のたけなから夏みかん加工品などが出品。萩市から甘夏のプレゼントがあります。

5月14日(木)～18日(月)

東京都中央区日本橋2・3・4日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館(03・3231・1863)

■野坂和左衛門展

5月25日(月)～30日(土)
東京都港区赤坂3・8・8 赤坂乾ギャラリー
(03・3584・3850)

■小田光治作陶展

6月5日(金)～15日(月)
千葉県千葉市中央区中央3・4・10 ギャラリー呂久呂
(043・224・5251)

■第20回日本陶芸展

萩市の陶芸家 岡田裕、野坂和左、船崎透が入選しました。

7月11日(土)～9月6日(日)
茨城県笠間市笠間2345 笠間芸術の森公園内 茨城県陶芸美術館
(0296・70・0011)

東海地区

■東海指月会

東海地区の萩高同窓会。
6月28日(日) 正午～
愛知県名古屋市中村区 名古屋マリオットアソシアホテル51F
(052・584・1111)

関西地区

■「たちばな会・からたち会合同関西支部総会」

関西地区の萩工業・萩商業高の合同同総会。
6月20日(土) 正午～午後3時
大阪市北区芝田2・4・53
大阪弥生会館
(06・6373・1841)

■関西山峡(やまなみ)会

旧旭村・川上村の同郷会。
6月28日(日) 午前11時～
大阪市中央区道頓堀2・3・28
中国新名菜「敦煌」
(06・6211・7796)

■第20回日本陶芸展

萩市の陶芸家 岡田裕、野坂和左、船崎透が入選しました。

5月14日(木)～18日(月)

大阪市中央区心斎橋筋1・7・1 大丸心斎橋店
(06・6271・1231)

中国地区

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。
6月27日(土) 午後6時～
広島県広島市南区 ホテルセンチュリー21広島
(082・263・3111)

■田村覚志個展

萩市の線描画家 田村覚志の作品が展示されます。

5月15日(金)～6月1日(月)

島根県益田市乙吉町イ336・7 和菓子処 三松堂益田店
(0856・23・6974)

島根県津和野町本町1丁目 和菓子処 三松堂菓心庵
(0856・72・3225)

■山口伝統工芸展広島展

岡田裕、野坂康起、波多野善蔵など萩市から11人の作品が展示されます。

7月21日(火)～27日(月)

広島県広島市中区基町6・27 そごう広島店
(082・225・2111)

山口県関係

■山口県立山口博物館

○歴史常設展示第Ⅰ期「木戸孝允資料展」
明治維新を代表する政治家 木戸孝允に関する資料(肖像画、書状、漢詩書など)を展示。

6月21日(日)まで

○歴史常設展示第Ⅱ期「周布政之助資料展」
幕末期の長州藩政を指導した周布政之助に関する資料(肖像画、漢詩書、愛用品など)を展示。

6月24日(水)～9月13日(日)
山口市春日町8・2 山口県立山口博物館
(083・922・0294)

■山口伝統工芸展

岡田裕、野坂康起、波多野善蔵など萩市から11人の作品が展示されます。

5月29日(金)～6月7日(日)

山口市亀山町3・1 山口県立美術館
(083・925・7788)

6月12日(金)～16日(火)

周南市銀座2・14 近鉄松下百貨店
(0834・21・5000)

■富士通スペシャル「1000ゴールドフィンガーズ」パート11
リーダー格のジュニア・マンス、シリーズおなじみのシダー・ウォルトンらが出演します。

6月6日(土) 午後7時30分～

阿武町奈古 阿武町民センター
チケット料金 8000円
問い合わせ 喫茶ヴィレッジ
(0838・25・6596)

■阿武町民センター

(08388・2・2044)

■大屋窯&濱中孝子展

大屋窯の陶器・磁器と濱中孝子の焼物のアクセサリとジュエリーが展示されます。

7月19日(日)〜26日(日)
山口市後河原121 ギャラリー
ラ・セーヌ
(083・922・4009)

九州地区

■4人展

兼田知明の作品が展示されます。

5月7日(木)〜12日(火)

福岡県福岡市中央区天神1・4・

1 博多大丸

(092・712・8181)

萩市関係

■萩商工高等学校同窓会本部総会

昨年、からたち会とあつちな会を統合し、萩商工高等学校同窓会の設立に向け、設立準備委員

新規(再)加入会員

藤田マキエさん (山口県下関市)
坂本強さん (東京都板橋区)
石村義昭さん (神奈川県横浜)
西浦浩子さん (千葉県鎌ヶ谷市)
岡正樹さん (東京都荒川区)
田中浩さん (萩市)
多田美千代さん (山口県山口市)
田村商事様 (萩市)
田子みどりさん (東京都中野区)
杉本和子さん (大阪府豊中市)
横山房子さん (大阪府大阪市)
根本恵津子さん (萩市)
中村みどりさん (萩市)
松浦早苗さん (萩市)

会を立ち上げ、会則・本部総会開催日等を検討。その結果、本部総会日は、旧両校の開催日の中間をとって、毎年7月(第2土曜日)と決定しました。

7月11日(土) 午後6時

萩商工高等学校体育館

(0838・222・0034)

■大屋窯SALE

陶器と磁器のセールが行われます(20〜70%OFF)。

5月1日(金)〜5日(火・祝)

萩市椿905 大屋窯

(0838・222・7141)

■俣宿天十平の企画展

ローマングラス&アートガラス

ジュエリー展

6月6日(土)〜15日(月)

○手づくりマーケット

6月17日(水)

萩市南古萩町33・5 俣宿天十

平(0838・266・6474)

■萩焼ぎやうい彩陶庵の企画展

萩4人展4th・金子司・中島大輔・

野坂和左・濱中史朗

6月20日(土)〜28日(日)

萩市呉服町1・3 彩陶庵

(0838・253・3110)

■萩往還まつり「技・明木展」

県内外の伝統工芸品や地元特産品等が展示、販売されます。

5月3日(日・祝)、4日(月・祝)

午前10時〜午後5時

明木市周辺

問い合わせ 萩往還工芸まつり実行委員会(0838・555・081

7) 内村

■萩美術協会展

5月9日(土)〜13日(水)

萩市江向 萩市民館小ホール

(0838・253・1234)

出版情報

■「萩・長門今昔写真帖 萩市・長門市・阿武町・阿東町」

郷土の変遷がひと目でわかる、初の時代対比写真集。限定

1500部。6月下旬発刊。

A4判/224ページ

価格 1万1550円

発行 郷土出版社

発売元 山口教科書供給株式会社

(0836・367・302)

■「会津と長州・幕末維新の光と闇」

星亮一、一坂太郎

わかる幕末! 会津と長州はなぜ仲が悪いのか。東と西それぞれの

出身の歴史家が画期的な対談。

190ページ



価格 1,470円
発行 講談社

■「きりえの仕事がうれしい。」

〜光と影とこころ〜

上田豊治、幸子著

萩市の切り絵画家 上田豊治さ

んの切り絵集。豊治さんを支え、

共に歩んだ母親の幸子さんの文章

も添えられた2人の合作集。

A4変型/141ページ

価格 2310円

発行 樹心社

(042・577・2778)

■「ビッグコミック」4月25日号

「日本全国味めぐり 名物に旨

いものあり」で萩市のあまだいが

紹介されています(323P)。

価格 270円

発行 小学館

■「ミシュラン・グリーンガイド・

ジャポン2009」フランス語版

フランスで有名な、緑色の装丁

の旅行ガイドブック。萩は一つ星

を獲得。萩城下町、松陰神社な

どが紹介されています。

456ページ

価格 19・90ユーロ

発行 ミシュラン

○アシエツト社の旅行ガイドブッ

ク「Guide Bleu Japon (ギッド

ブルー ジャポン)」では、萩は

最高評価の三つ星に格付け。(萩

は418Pから7ページにわたつ

て紹介。)



【背表紙】日本文化「アニメ」のキャラクターが掲載



プレゼント

。村田蒲鉾店「村四郎」2本セッ

トを20名様に。

。高橋まゆみ作品集(サイン入

り)、絵はがきセット(11枚入り)、

「八重子のハミング」文庫(陽信

孝著)を各1名様に。

。萩博物館「松陰の肖像」絵ハガ

キを5名様に。

応募方法 ハガキに品名、氏名

住所、電話番号、近況等を明記の

うえ、萩ネットワーク協会プレゼ



青空に広がる大芝生広場

みんなの広場 中央公園が完成！

市民や観光客の皆さんの憩いの広場として、旧市民球場の跡地（江向）に、大芝生広場（1万㎡）や健康園路のある中央公園を整備。多くの方から樹木やベンチの寄付をいただいたみんなの公園が、4月にオープンしました。

隣接の駐車場は、市外の方は有料ですが、萩市民の方が同乗されていれば無料です。城下町の散策にも、ぜひご利用ください。

（普通車：300円、バス10台：1000円）



真新しい芝生でグラウンドゴルフに挑戦



白壁が眩しい旧山村家住宅

浜崎町並み交流館が完成！

浜崎の
拠点！

浜崎に着いたら、ひとまず情報拠点となる旧山村家住宅と向かいの旧山中家住宅へどうぞ。マップを片手に町家散策をお楽しみください。

平成18年から工事を進めてきた浜崎町並み交流館（旧山村家住宅）が、4月にオープンしました。

国の伝建地区の浜崎地区に位置する旧山村家住宅は、地区有数の大型町家（江戸時代後期）。浜崎のお宝を常時展示しています。

▷ 浜崎2区（山口銀行浜崎出張所前）

▷ 入場無料 ▷ 休館日：毎週水曜日、

年末年始 ▷ TEL 0838・22・0133



懐かしい住吉座のよびこみチラシもあります

イベント情報

◆ 萩市観光課（0838・25・3139）

◆ 萩市観光協会（0838・25・1750）



萩夏みかんまつり

萩の香り溢れる

5月16日（土）～17日（日） 10:00～
旧田中別邸



浜崎伝建おたから博物館

萩の宝島を散策

5月17日（日） 9:00～ 浜崎



ほたるまつり in やまだ

美しいホタルの舞

6月6日（土） 18:00～ 山田天神橋周辺



おしくらごう

勇壮な和船競漕

6月7日（日） 9:30～ 橋本川
（玉江河川公園）